

災害に備えよう!

1月17日「防災とボランティアの日」

1月15日～21日「防災とボランティア週間」

《「防災とボランティア週間」について》

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に創設された「防災とボランティア週間」は、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動の認識を深めるとともに、災害への備え等の充実強化を図ることを目的としています。

阪神・淡路大震災が発生した1月17日が「防災とボランティアの日」、1月15日から1月21日までが「防災とボランティア週間」と定められています。

令和4年1月17日で阪神・淡路大震災の発生から27年が経過しますが、過去の災害の記憶を風化させず、今後、発生が懸念されている首都直下地震等に対する備えや都民の防災行動力の向上を図るため、東京消防庁では各消防署において防火防災訓練や様々な関連行事を積極的に推進しています。



阪神・淡路大震災 ～あの日を忘れない～

平成7年1月17日火曜日、午前5時46分、兵庫県南部でマグニチュード7.3の直下型地震が発生し、多くの命が奪われました。

阪神・淡路大震災の被害は、兵庫県を中心に大阪府、京都府など2府14県に及び、人的被害は、死者6,434人、行方不明者3人、負傷者43,792人という甚大なものとなりました。建物の被害は、住家の全壊104,906棟、半壊144,274棟、一部破損390,506棟、合計639,686棟にのぼり、また住家以外の公共建物1,579棟、その他40,917棟が被害を受け、293件の火災が発生しました(総務省消防庁調べ)。この地震による避難者はピーク時で約32万人に及びました。



発災直後の神戸市長田区の様子
写真提供：神戸市

1月15日「Tokyo消防団の日」

消防団のPRや募集活動を実施し、広く都民に消防団を紹介していくため、平成20年11月一般社団法人東京消防協会において、毎年1月15日を「Tokyo消防団の日」として制定しました。

1月は消防団募集強化月間です。

消防団は火災などの災害活動をはじめ、応急救護の普及活動や災害を未然に防ぐための啓発活動など、幅広い活動を行っています。会社員や自営業、学生や主婦など様々な職業や年齢層の方々が、「自分たちの町は自分たちで守る」という精神のもと地域に密着した活動を行っています。

トピックス

浅草寺初詣消防特別警戒を実施

日本堤消防署では日本堤消防団と連携し、12月31日から1月3日までの間、浅草寺の初詣に伴う消防特別警戒を行いました。

コロナ禍で年越しを迎えた昨年とは打って変わり、多くの参拝客が訪れ、例年に近い賑わいが見られました。



日本堤消防署管内の災害状況[令和3年中]

火災件数	19件
焼損床面積	36㎡
救助件数	136件
救急件数	5,523件

お問合せはこちらまで

日本堤消防署 03-3875-0119
日本堤消防署二天門出張所 03-3845-0119
日本堤消防署今戸出張所 03-3873-0119
E-mail nihondutumi2@tfd.metro.tokyo.jp

メールマガジンについてのお問合せは日本堤消防署警防課防災安全係にて受け付けております。